

踏み跡 <My Mountains>

茨城(筑波)	吾国山から愛宕山へ縦走	No.286
--------	-------------	--------



平成7年の夏に道祖神峠に車を置いて吾国山(わがくにさん)と難台山(なんだいさん)を往復した。(No.256)
 この時に難台山の先に連なる稜線を末端まで歩いてみたら面白そうだなと思って帰ってきた。縦走となると車は使えないので、不便な路線バスに頼らず鉄道の駅を起点・終点に選ばなければならない。地図とガイドブックと時刻表を見ながら検討を進めた。前回の印象からすると、真夏より冬の方が良いかもしれないという結論に達した。

平成10年2月1日

今年初の登山を飾るに相応しく、天気は快晴。5時半に起きて八千代台6時31分発のモーニングライナーに乗車。日暮里で山手線に乗り換えて、上野に7時15分に到着。
 昼食用に駅弁を購入して7時30分発の特急ひたちに乗る。時間数を稼ぐためには各駅停車では厳しいので、特急を利用することにした。友部で下車して水戸線に乗り換え。
 友部発9時ちょうど、車窓から冬の田舎の味のある風景を楽しんでいる内に福原に到着、9時15分。
 9時20分歩行開始。途中で昼食用に缶ビールを購入。枕・椿・沢ときれいな一文字の名前の集落を通り抜けて、集落の一番奥で沢の左股沿いの山道になった。時々振り返ると、羽黒から福原にかけての下界の景色が目に入って来る。映画のひとこまを見るような牧歌的な美しさにしばし見とれる。山頂から北に伸びる尾根の海拔236mのくびれに出て、山の腹を巻いて行くと林道今泉吾国線に飛び出した。
 林道には雪があり、遠くに見える日光の山並みも白く見える。林道を横切ってさらに高度差300mほどを登ると吾国山の頂上(海拔518.2m)。二年半ぶりの登頂は11時10分着。
 加波山・筑波山へ連なる稜線の連なり、霞ヶ浦と関東平野の広がりをおかずに恒例の缶ビールと昼食(駅弁)、そしてエンジン付きハングライダーの響きをBGMにして少しばかりの昼寝。
 12時30分出発、ゆったりした下りの後洗心館を通り、12時52分道祖神峠(どうろくじんとうげ)着。ここまではよかったが・・・、難台山への登りは北面になるので雪が多くしかも凍りついている。逆コースをとる人とすれ違くと、かなり歩きにくそうだ。
 難台山(553m)13時45分。ここから先にはもうこれ以上高い山はない。多少の登り下りはあるにせよ、少しずつ下って行けば良いので気が楽だ。
 団子石峠14時30分、ここで海拔400mを切った。西は八郷、東は岩間、舗装された道路が尾根を横切っている静かな峠だ。
 すすぎが原15時、このあたりで海拔350m。誰が付けたのか?こんな名が付けれられているが、どこにもスキは見当たらない。
 乗越峠15時17分、300mを切ろうという所まで下ってきた。目の前に愛宕山。
 愛宕山、山頂は愛宕神社。見晴らしのきく広い公園のような山頂は海拔306m。北東にやや下った所に三角点があるが、そこは257.8m。
 緩やかに下って、海拔50mぐらいで人里に出た。最後は家並みの中を東へ東へ歩を進めて岩間駅に到着。時計を見ると16時16分。顔を洗って一息つきながら時刻表を見ると16時21分発の土浦行が間もなく来るので大急ぎで切符を買ってホームへ。
 土浦で始発の上野行に乗り換えて、18時20分に上野に帰着。しばらく車の山旅が続いたので、電車の山旅

踏み跡 <My Mountains>

は一年ぶり、新鮮味があった。

以上

